




オリンピック予選 【 男子 】

開催日時 4 月 30 日 (月) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合 13:30	オーストリア (世界ランク21位)	2	$\begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 0 & 0 \end{pmatrix}$	1	チェコ (世界ランク23位)
第2試合 16:00	ブラジル (世界ランク42位)	0	$\begin{pmatrix} 0 & -6 \\ 0 & -5 \end{pmatrix}$	11	日本 (世界ランク15位)
第3試合 18:30	中国 (世界ランク17位)	2	$\begin{pmatrix} 0 & -3 \\ 2 & -2 \end{pmatrix}$	5	南アフリカ (世界ランク12位)

【各試合の結果・詳細】

第1試合

オーストリア 2 $\begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 1 チェコ

勝点 3
1 勝 0 分 2 敗

勝点 0
0 勝 0 分 3 敗

<得点>

オーストリア : 9分 26分 #9KÖRPER

チェコ : 11分 #9NICKLAS

<戦評>

チェコのセンターパスにより前半戦が開始された。両チームとも、ショートパスを繋ぎ攻撃を仕掛ける。最初にチャンスを得たのはオーストリア。9分#9KÖRPERのフリックシュートが右上に決まり先制点を挙げる。追いつきたいチェコは11分サークル付近からのセンターリングでボールを打ち込み、それをヒットシュートするがGK#30MÄNTNERに阻まれる。しかし、こぼれたボールを混戦の中#9NICKLASが押し込み同点とする。22分オーストリアは、ロングパスからドリブルでサークルに切り込みチャンスを作るが、GK#16HANUSの好セーブにより得点することができない。その後もオーストリアの攻撃が続く。26分、#14PROKSCHがフリーでボールをもらい、GKと1対1になりとめられるが、リバウンドボールを#13STANZLがシュート。相手DFの反則によりPSとなる。このチャンスを#9KÖRPERが落ち着いて右下に決め2-1とする。オーストリア、リードで前半を折り返した。

後半が開始され、オーストリアは組織プレーで攻撃する。しかしチェコのDF陣によって阻止され、得点に結びつかない。チェコは43分速攻からPCを取得。チャンスを得るが#15PERINKAのフリックシュートはGK#30MÄNTNERに止められる。さらに50分、サークル内でボールを受けた#9NICKLASは、ふりむきざまにヒットシュートを放つが、またしても得点へと繋げることができない。その後は、一進一退の攻防が続き試合は硬直状態となる。両チーム攻め込むがシュートチャンスを作ることができず、試合は終了。オーストリアが1点のリードを守りきり2-1で勝利した。

テクニカルオフィサー	MARSH Gary	アンパイア	GENTLES David
ジャッジ	STEWART Antony UEDA Koichi		GROCHAL Marcin

第2試合

ブラジル 0 $\begin{pmatrix} 0 & -6 \\ 0 & -5 \end{pmatrix}$ 11 日本

勝点 0
0 勝 0 分 3 敗

勝点 9
3 勝 0 分 0 敗

<得点>

ブラジル :

日本 : 1分 #21塩川、11分 63分 #32坂本、13分 14分 69分 #9田中、20分 #3粥川
35分 #2三澤、38分 70+分 #14長澤、49分 福代

<戦評>

ブラジルのセンターパスにより前半戦が開始された。開始1分日本は中盤でボールをカットし、#9田中が左サイドから回り込んで折り返したボールを#21塩川が押し込み先制点を挙げる。さらに日本は11分、中盤でパスを繋いでDFをかまし、#5川上が左のバックライン際にいる#18福代に渡しそれを#32坂本が受けリバースシュートを決め追加点とする。一方、ブラジルも12分にPCを獲得。フリックシュートで左上を狙うが#3粥川が守る。13分、日本は#3粥川がサークル付近からヒットを打ち込み、ブラジルのDFに止められるがそのこぼれ球を#9田中がヒットシュートで決める。14分には日本の#18福代がサークルトップにいる#9田中に合わせ、それを左にずれリバースヒットを打ち、右下に決め点差を広げる。その後も日本は攻め、20分にPCを獲得。#2三澤がパッサーの#3粥川に合わせタッチシュートが決まる。終了間際の35分日本はまたもPCを獲得。それを#2三澤がフリックシュートで右下に決めリードを広げる。前半戦はそのまま終わり、6-0で折り返す。

後半戦に入り日本ペースは続く。38分日本は右サイドから流れるようなパスワークでPCを獲得。#14長澤のフリックシュートがストレートに決まる。49分にもPCを獲得。#2三澤がフリックシュートを放つがブラジルGK#1TATARAに当たり、そのリバウンドを日本#18福代が落ち着いて右上に決め得点とする。その後、日本は再三チャンスを作るもののブラジルの全員守備により得点を奪うことができない。しかし日本は63分#32坂本、69分#9田中が得点を重ねる。70分にはPCを獲得。#14長澤が左下にフリックシュートで決め11-0で日本が圧勝する。

テクニカルオフィサー	MARSH Gary	アンパイア	KIM Hong Lae
ジャッジ	UEDA Koichi STEWART Antony		PRASAD Raghu

第3試合

中国 2 $\begin{pmatrix} 0 & -3 \\ 2 & -2 \end{pmatrix}$ 5 南アフリカ

勝点 6
2 勝 0 分 1 敗

勝点 9
3 勝 0 分 0 敗

<得点>

中国 : 47分 #20NA、69分 #28LIU
南アフリカ : 17分 #25REID-ROSS、20分 #29HALEY、31分 #10NORRIS-JONES
46分 50分 #1ROBINSON

<戦評>

中国のセンターパスにより前半戦が開始された。両チーム激しいボールの奪い合いの中、初めにチャンスを作ったのは南アフリカ。右サイドでボールを受けた#18McDADEがDFをかわしリバースシュートを放つも中国GK#25SUの好セーブにより得点することができない。試合は南アフリカのペースで進む。17分右サイドでボールを受けた#3CRONJEがドリブルでサークルに持ち込みPCを獲得。#25REID-ROSSが豪快なフリックシュートを決め、待望の先制点を挙げる。20分南アフリカは、中国陣内で#18McDADEがボールを奪い#10NORRIS-JONESに渡し、シュートを放つも中国GK#25SUに阻まれる。しかし、そのリバウンドを#29HALEYが拾い、ゴール左隅にヒットシュートを決め追加点を挙げる。31分南アフリカは巧みなパス回しから中国陣内に攻め込みサークル付近でパスを受けた#25REID-ROSSが中へ切り込み、鋭いプッシュパスをサークル内にいた#10NORRIS-JONESに出し、ダイレクトシュートを決めリードを広げる。得点の欲しい中国だが34分にPCを獲得するも、南アフリカ#3CRONJEに阻まれ得点することができない。3-0で南アフリカリードのまま前半戦を折り返す。

後半戦も南アフリカのペースで試合は進み、46分左サイドでボールを受けた#9HYKESがラストパスを#1ROBINSONに合わせダイレクトで決め、追加点を挙げる。一方中国は47分速攻からサークルに入り、ゴール前の混戦から#20NAが押し込み1点を返す。50分南アフリカは#1ROBINSONが5点目を挙げる。得点の欲しい中国は怒涛の攻撃から55分、58分、66分、67分、69分と立て続けにPCを獲得し、69分#12CHENが左に流したボールを#28LIUが左隅にフリックシュートを決める。中国が追い上げを見せるが、試合は終了。5-2で南アフリカが勝利した。

テクニカルオフィサー	STEWART Antony	アンパイア	KEARNS Adam
ジャッジ	MARSH Gary		CURRAN Ged
	UEDA Koichi		

明日の組み合わせ【女子】

第1試合 13:30	マレーシア (世界ランク23位)	VS	チリ (世界ランク17位)
第2試合 16:00	アゼルバイジャン (世界ランク15位)	VS	日本 (世界ランク9位)
第3試合 18:30	ベラルーシ (世界ランク22位)	VS	オーストリア (世界ランク29位)